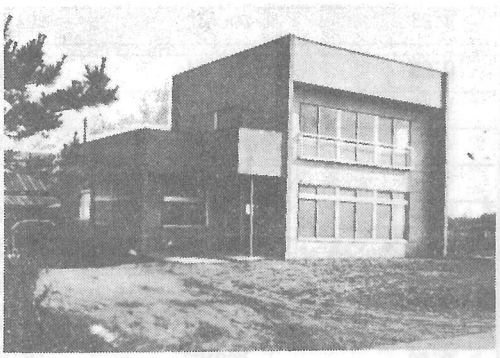
鰻上りの発展

養殖漁業に意気揚る漁協
憩の場漁業協同館も完成

横芝町漁業協同組合（渡辺勅夫組合長）では、四十三年度漁業構造改善事業の一環として、加工施設事業（事業費六三七万円）、淡水蓄養殖設置事業＝鮎養殖＝（事業費三六五万円）、漁業協同館建設（工費三四〇万円）を計画し、昨年末から工事に取りかかっていましたが、この程諸施設が完成し、六月十日竣工式を挙行しました。漁業協同組合では、沿岸漁業の不振から、養殖漁業（養鰻）に転換して以来六ケ年が経過しておりますがその成果は徐々に上り、明日への希望が見え始めている折柄、これら施設の完成は一段と養殖業に拍車をかけるでしょう。



写真は漁業センターともいえる協同館全景

この加工場や養殖場は、今後、経営と生産の場となり、漁業協同館は研究の場であると共に憩の場となって、これら施設が充分に活用されれば組合の繁栄と組合員の福祉向上が約束されるものと期待されています。

尚県下の漁業協同館設立は銚子市外川漁協、安房郡千倉町川口漁協、同町七浦東部漁協の三館がありますので、横芝町漁協の分は、県下で四番目のものということになります。

日赤募金目標額にあと一歩

（六月十四日現在）

町民の皆様に御協力をいただいております赤十字社資増強運動は目標額一八〇、〇〇〇円に対し、募金額一七〇、八六三円と目標達成にあと一歩となりました。

日赤では、皆様からいただいた募金をいろいろな事業に活用しておりますが、特に本年は、▽災害救護▽血液事業△新興国赤十字社援助▽交通災害防止と四本の柱を重点に、運動の趣旨に基づいて、平和な明るい社会の建設に邁進してゆくと言っています。

町内小学校と保育園
新入児童に記念品
―社福協が―

横芝町社会福祉協議会では、町内小学校新入生と保育所児童に、本年度の入学、入園を祝いその記念として次の品々を贈りました。

横芝小学校に電気時計三個
大総小学校、上堺小学校に図書
各保育所に夏物ビニール帽子

この思いがけない贈物は、それぞれ欲しかったものばかりなので、学校や施設の先生、保母さんはもとより、児童、園児も喜びに湧いています。

坂田の梅　初出荷

四年前の昭和四十年本紙で〃花も実もある話〃とおしらせした坂田の梅林が今年はよく実り、植付以来始めての出荷をしました。白加賀特有の丸々とした大粒の実の手ざわりは収穫する人々の心をも楽しませている。

横芝俳壇

横芝句会
六月例会作品抄

鳥沼　高埜　孝子

湯上りの頬こわばりて麦の秋
葉影の梅育伸び老ゆや梅雨晴れ
栗山　小沢　春光
デーゼルカー現われ来る青田かな
ここはまだ石ころ路なる青田かな
東町　石川　寄水
鉄かんの巨、山越えて来し青田かな
街の灯が岬の如き青田かな
栗山　若梅あやめ
麦秋や刈り終えて見て野の広さ
ふり返る程色鮮やかな大茜
古川　藤代　ゆう
収容の子と別れ来て夏の雲
歌声に和すことみどり次々と
栗山　田島　千女
梅雨曇る桃の素肌は夜の深み
梅雨冷えの会議の膝の小さざみに
清水　川島　松露
徐ろに煙草喰えて青田見る
梅雨晴やママの疲れを慰ろに
清水　斎藤ちくろ
青田尽きビルの白さが暮れ残る
黄合羽の青田を遠く廻りゆく
東町　玉虫たけし
梅雨晴やはじける子等の声しばし
夕焼や少年丘より鳩放つ
清水　伊藤美佐子
梅雨晴間結びの固き荷をほどく
花栗の香り幾度もちり捨てに
蓮沼　川島　啓明
防具付けし童眼並び梅雨晴る
梅雨の窓猫と話す女はひとり
横小　古内　青人
拗ねる小女梅雨雲重ね来る暮色
歯科混む梅雨冗舌でいて他人の顔

◎次回は
七月十九日（土曜）
午後二時＝締切厳守＝
横芝小学校応接室に於て
兼題＝「汗」「冷奴」通して五句

有線加入者の異動

有線放送電話加入者の異動をお知らせします

	部落	氏名	番号
新規加入	屋形南	日本天然ガスKK	106―15
	〃	海保　利雄	107―16
	上町3	鈴木　実	37―12
	本町3	鈴木　正義	56―18
	〃	吉川　保男	56―17
	東町3	多辺田金次	65―18
	栗山4	向後　秋光	70― 2
	〃	須合　幸泰	85―13
	鳥喰新田	松田　勤	70―16
	小堤	伊藤正一郎	20― 1
脱退	栗山4	須合仙太郎	85―13
	小堤	野本寅雄	20― 1
	谷台	鈴木政子	16―16
	牛熊	行方　正	8―15

回線移動

	本町3	川島　忠	56―16